

報告事項 イ

令和3年度「とっとり学力・学習状況調査」結果概要について

令和3年度「とっとり学力・学習状況調査」結果概要について、別紙のとおり報告します。

令和3年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和3年度「とっとり学力・学習状況調査」結果概要について

令和3年10月20日
小中学校課

令和3年5月11日（月）～20日（木）に実施したとっとり学力・学習状況調査については、令和3年8月24日（火）に調査結果が返却されました。本県の調査結果概要は次のとおりです。（**昨年度は鳥取市、米子市のみ実施**）

【教科に関する調査結果】

- ・国語の学力レベルでは、小5、中1の伸びは2レベルであり、小6の伸びは1レベルであった。小5、小6、中1ともに、伸びに大きな差は見られない。
- ・算数・数学の学力レベルでは、小5、小6で大きな伸びが見られた。中1の伸びは1レベルであり、他の学年に比べて小さい。

【非認知能力・学習方略結果】

- ・主体的・対話的で深い学びの実施、学習方略については、昨年度からの変化量において大きな変化は見られなかった。
- ・非認知能力については、昨年度から、小5の勤勉性で-0.3、小6の自制心で-1.5、学習意欲（算数）で-0.8という変化があった。

1 鳥取県調査実施状況

	参加予定数	参加人数
小学校 義務教育学校	105校 (小学校101校、義務教育学校4校)	12,855人
中学校 義務教育学校	46校 (中学校42校、義務教育学校4校)	3,976人
特別支援学校	3校	7人
合計	154校	16,831人

2 本県の状況

(1) 教科に関する調査

◇国語

学年	R2学力 レベル ※1	R3学力 レベル ※2	R2→R3の 学力の伸び ※3	学力を伸ばした 児童生徒の割合 (%) ※3
小学4年生	-	6-A	-	-
小学5年生	6-C	6-A	2	66.0
小学6年生	7-C	7-B	1	64.6
中学1年生	7-B	8-C	2	69.8

◇算数・数学

学年	R2学力 レベル ※1	R3学力 レベル ※2	R2→R3の 学力の伸び ※3	学力を伸ばした 児童生徒の割合 (%) ※3
小学4年生	-	5-B	-	-
小学5年生	5-C	6-C	3	82.2
小学6年生	5-A	7-C	4	81.8
中学1年生	7-C	7-B	1	69.9

※1 R2は鳥取市と米子市の値

※2 R3は県内12市町村の値

※3 参考値

(2) 児童生徒質問紙調査

学年	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略					
		柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略
小学校4年生	4.0	3.5	3.5	3.5	3.1	3.8	3.9
小学校5年生	3.9(0.0)	3.3(-0.1)	3.4(0.0)	3.3(-0.1)	3.0(0.0)	3.7(0.0)	3.9(-0.1)
小学校6年生	3.9(-0.1)	3.3(0.0)	3.4(0.0)	3.4(0.0)	3.0(0.0)	3.7(0.0)	3.9(0.0)
中学校1年生	3.9(0.0)	3.4(0.1)	3.6(0.1)	3.5(0.2)	3.1(0.0)	3.7(0.0)	3.9(0.0)

学年	非認知能力			
	自制心	自己効力感	勤勉性	学習意欲(算数)
小学校4年生	-	3.0	-	-
小学校5年生	-	-	3.0(-0.3)	-
小学校6年生	2.2(-1.5)	-	-	3.0(-0.8)
中学校1年生	-	3.3(-0.2)	-	3.5(0.0)

※ () 内の数値は、R2からR3の変化量を表す(参考値)

3 考察

- ・国語に比べて算数の学力の伸びが顕著である。平成30年度から算数訪問等で算数の授業改善に取り組んできた成果が表れているのではないかと考えられる。今後は、国語に関しても研修会を実施する等、国語の授業改善に向けた取組を実施していくことが必要である。
- ・とっとり学力・学習状況調査の学力レベルと全国学力・学習状況調査の正答率には強い相関が見られることが分かった。とっとり学力・学習状況調査を生かした取組を実施していくことが、全国学力・学習状況調査の正答率の向上にもつながると考えられる。
- ・「伸び」を把握できる鳥取市・米子市では、学級担任が児童生徒の学力や非認知能力・学習方略を伸ばした実践を見取ることが可能になった。このことから、校内で良い取組や効果のあった実践を共有し、学校全体で児童生徒を伸ばしていく取組を実施していくことが可能である。
- ・管理職は、分析結果を学校マネジメントに生かし、教員の指導力を育成する等、戦略的な学校経営に活用できると考えられる。

4 今後の取組

(1) 調査結果の分析・活用についての説明会を開催

調査結果の活用法について、オンラインで説明会を開催し、帳票の見方や具体的な活用の仕方について説明し、効果的な活用を促す。(9月7日：西部地区、9日：米子市、14日：東・中部地区、16日：鳥取市を開催)

(2) 調査結果を市町村教育委員会とともに分析し、今後の方針を共有

調査結果を市町村教育委員会と共有して、今後支援が必要な学校を明確にするとともに、どのような手立てを打てるか検討し、協働で取り組む。

(3) 調査結果や効果的な実践等をまとめた報告書を作成して全県に情報提供

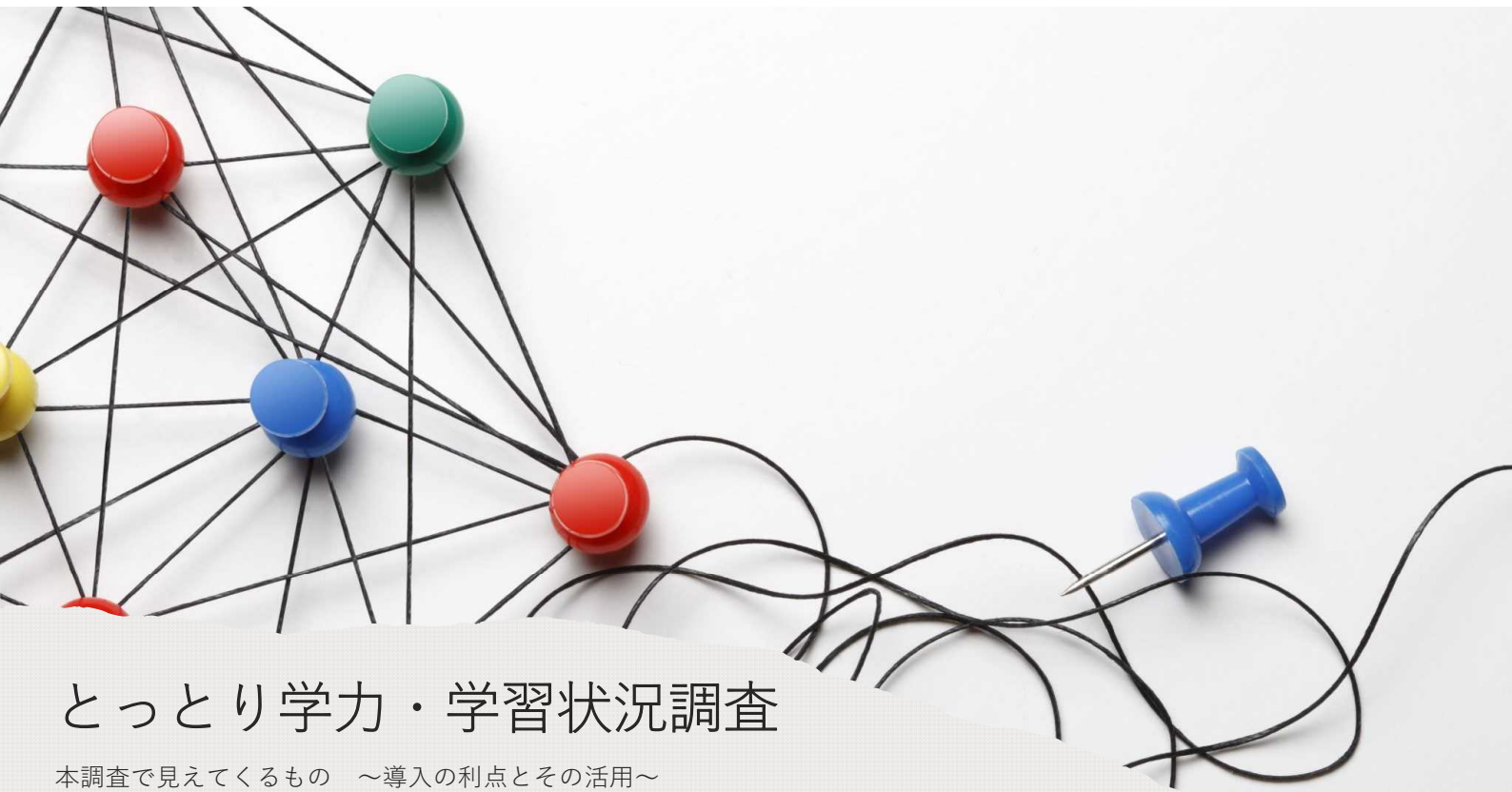
調査結果活用協力実践校のモデル的な活用実践や、学力レベルの伸びの大きかった学校・学年・学級の取組について市町村教育委員会と協働して聞き取りを行い、その結果をまとめた報告書を作成して全県の小・中・義務教育学校に情報提供する。作成した報告書は、実施説明会等での共有、周知のために活用する。

(4) 管理職対象にとっとり学力・学習状況調査を活用した学校マネジメント研修を開催

とっとり学力・学習状況調査は、実施2年目から昨年度の学級の児童生徒の伸びなど、教員の指導の成果を明確に見ることができるようになる。それを、教員のモチベーションを高める材料とするためには、管理職のマネジメントが必要である。各学校で調査結果をどのように活用すればよいか周知を図るため、文部科学省の大根田室長補佐による管理職を対象とした学校マネジメント研修会を1月に開催する。

(5) 「今求められる学力」をつける教員の育成

とっとり学力・学習状況調査により個々の児童生徒や学級の「伸び」を把握できることを周知し、その分析から個人や集団を伸ばすために有効な指導法について校内で研究するよう説明する。また、全国学力・学習状況調査の問題分析から、「今求められる学力」を育成する授業づくりのポイントを周知し、授業改善を促す。2つの調査を両輪として「今求められる学力」をつける教員の育成を図り、児童生徒の学力をつける。



とっとり学力・学習状況調査

本調査で見えてくるもの ～導入の利点とその活用～

鳥取県教育委員会

とっとり学力・学習状況調査の特長

問題ごとに難易度を設定した学力調査を継続して実施することにより、子ども一人一人の学力の伸びを把握し、指導に生かすことができます。

		小4	小5	小6	中1	中2
高 ↑ 難易度 ↓ 低	レベル12					
	レベル11					
	レベル10					
	レベル9					
	レベル8					
	レベル7					
	レベル6					
	レベル5					
	レベル4					
	レベル3					
	レベル2					
	レベル1					

学年ごとの難易度の設定範囲

【導入1年目】 児童生徒の 状況

学力レベル
学習方略と非認知能力

◇全部で12のレベルがあります。(各学年で測定可能なレベルは7レベル)
◇1つのレベルをさらに3層(A~C)に分けています。

【導入1年目】 児童生徒の 状況

学力レベル
学習方略と非認知能力

令和3年度とっとり学力・学習状況調査(小学校6年生)
学力分析データ(学力レベル・伸び・学習方略・非認知)児童生徒別
鳥取県教育委員会 帳票40

学年	国語		算数・数学		R3結果								
	R3レベル	R3レベル	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力			
				柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)	
6	9-C	6-B	4.1	4.2	3.8	4.3	4.5	4.3	3.8	2.0	-	1.8	
6	8-C	6-C	2.5	3.1	3.0	2.8	3.5	2.8	3.0	3.2	-	3.0	
6	7-B	5-A	3.4	1.6	1.7	2.8	3.0	3.3	2.6	2.6	-	2.8	

主体的・対話的で深い学びの実施の数値が他の項目より低く、課題となっている可能性がある。

柔軟的方略、プランニング方略(学習方略)の数値が他の項目より低く、課題となっている可能性がある。

自制心、学習意欲(算数)(非認知能力)の数値が他の項目より低く、課題となっている可能性がある。

【導入1年目】 学級の状況

学力レベル
学習方略と非認知能力

	国語		算数・数学		R3結果								
	R3レベル	R3レベル	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力			
				柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)	
学校平均	7-B	6-A	4.3	3.5	3.9	3.6	3.1	4.0	3.1	2.2	-	3.4	
市町村平均	7-B	7-C	3.9	3.4	3.6	3.5	3.0	3.8	3.9	2.2	-	3.0	
鳥取県平均	7-B	7-C	3.9	3.3	3.4	3.4	3.0	3.7	3.9	2.2	-	3.0	

学校や市町村全体の学力レベルや非認知能力について、鳥取県平均と比較して把握できる。

算数の学力レベルが低い原因を学習方略や非認知能力から推測する事ができる。

学級としては、努力調整方略について課題がある可能性がある。重点化した取組を考える。

【努力調整方略に関する児童生徒質問紙の項目】

- ・学校の勉強をしているとき、とてもめんどろでつまらないと思うことがよくあるので、やろうとしていたことを終える前にやめてしまう
- ・今やっていることが気に入らなかったとして、学校の勉強でよい成績をとるために一生懸命がんばる
- ・授業の内容が難しいときは、やらずにあきらめるか、簡単などろだけ勉強する
- ・問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるように努力する

【導入2年目以降】児童生徒の伸び

・学習方略と非認知能力 ・学力レベル

R3在籍情報		R2在籍情報		国語		算数・数学		R3結果											
個人番号	学年	個人番号	学年	R3レベル	昨年度からの学力の伸び	R2レベル	R3レベル	昨年度からの学力の伸び	R2レベル	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力		
										柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)	
6	C	5	A	7-C	4	5-A	7-A	4	6-B	4.5	3.0	4.5	3.0	2.0	2.8	4.3	1.9	-	2.8
6	C	5	B	7-A	5	6-C	7-C	5	5-B	4.6	4.8	4.8	4.3	3.5	5.0	5.0	2.1	-	3.0
6	C	5	A	8-C	4	6-A	5-A	-1	6-C	4.2	1.0	4.0	2.0	3.8	3.3	3.3	1.4	-	1.0
6	C	5	A	3-C	0	3-C	6-C	2	5-B	4.2	3.3	2.8	2.0	2.3	3.3	2.0	4.6	-	4.0
6	C	5	B	9-B	8	6-A	7-A	7	5-B	3.8	2.8	2.8	2.8	3.0	2.5	3.5	2.6	-	1.5

5段目の児童は、昨年度より大きく学力が伸びている。

3段目の児童は、算数が伸びていない。学力レベルが下がっている。

伸びが見えることで、学力レベルだけでなく、その学力レベルにある児童生徒の背景が分かる。

更に非認知能力の状況を見てみる。

R2→R3 (変化量)																		
主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力											
										柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)
0.9	-0.3	1.3	0.3	-0.3	-0.8	0.5	-2.3	-	-0.9									
0.4	0.5	0.3	0.0	-0.3	0.5	0.3	-2.3	-	-0.8									
0.8	-1.0	-0.5	-0.5	1.5	0.3	-0.8	-2.0	-	-2.6									
-0.2	2.3	1.0	1.0	1.1	0.5	-0.8	3.1	-	-0.8									
-0.1	-0.3	-0.5	-0.5	-0.5	-0.8	0.3	-0.6	-	-1.8									

学力レベルが伸びた児童は、本当に問題なく学力を伸ばしているのか。この児童は、これから先も学力を伸ばしていける状況にあるのか。

【導入2年目以降】学級（学年）の状況

・学習方略と非認知能力 ・学力レベル

		国語		算数・数学		R3結果											
		R3レベル	昨年度からの学力の伸び	R2レベル	R3レベル	昨年度からの学力の伸び	R2レベル	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力		
								柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)	
学級平均		7-B	2	6-A	6-A	3	5-A	4.1	3.5	3.6	3.5	2.9	3.8	4.0	2.1	-	3.0
市町村平均		7-B	1	7-C	7-C	3	6-C	3.9	3.4	3.4	3.4	3.1	3.7	4.0	2.2	-	3.1
鳥取県平均		7-B	1	7-C	7-C	4	5-A	3.9	3.3	3.4	3.4	3.0	3.7	3.9	2.2	-	3.0

国語は、県平均並に見えるが、伸びを見ると昨年度から県平均より伸ばした状況である。

算数は、市町村のレベルは県平均並だが、伸びを見ると県平均より伸びていない状況である

伸びが見えることで、学力レベルだけでなく、その学力レベルにある市町村・学校・学級の背景が分かる。

更に非認知能力の状況を見てみる。

R2→R3 (変化量)																		
主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力											
										柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)
0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.1	-1.6	-	-0.9									
-0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-1.7	-	-0.7									
-0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-1.5	-	-0.8									

自制心や学習意欲に課題があることが分かる

【自制心に関する児童生徒質問紙の項目】令和3年度の小学6年生に質問
 ・他の子たちが話をしているときに、その子たちのじゃまをした
 ・何からんぼうなことを言った
 ・つくえ・ロッカー・部屋が散らかっていたので必要なものを見つけることができなかった
 ・家や学校で頭に来て人やものにあたった
 ・イライラしているときに、先生や家の人（兄弟姉妹は入りません）に口答えをした

【導入2年目以降】昨年度の指導の効果

R2学年	R2組	学力を伸ばした児童生徒の割合 (%)		学力の伸び率 (R3学力レベルとR2学力レベルの差の平均)		R3学力レベル平均		R2学力レベル平均		R3結果									
		国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力		
											柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)
	県平均	64.7	81.6	1.5	3.1	19.8	18.4	18.3	15.2	3.8	3.3	3.4	3.3	3.0	3.7	3.9	2.2	-	3.0
5	1	30.8	84.6	-0.5	3.8	19.1	19.3	19.6	15.5	3.8	3.0	3.4	3.3	2.9	3.5	3.8	2.4	-	3.0
5	2	42.3	84.6	0.1	3.5	20.2	18.4	20.0	14.9	3.6	3.3	3.5	3.4	2.8	3.7	3.9	2.2	-	2.8
5	3	81.5	92.6	2.5	4.3	21.9	20.0	19.4	15.7	3.8	3.1	3.2	3.4	2.8	3.4	3.8	2.3	-	2.9

【伸びた割合】
国語は、1, 2組は半数以上の児童が全く伸びていない。算数は、よく伸ばすことができている。3組は、とても伸ばしている。

【伸び】
算数は、とてもよく伸びているが、国語は、学級格差が大きい。3組は良いが1, 2組は伸びていない。

【学力レベル】
国語は、2, 3組とも県平均以上。算数は、全クラス県平均以上 **良好な状況**

R2→R3(変化量)									
主体的・対話的で深い学びの実施	学習方略						非認知能力		
	柔軟的方略	プランニング方略	作業方略	人的リソース方略	認知的方略	努力調整方略	自制心	自己効力感	学習意欲(算数)
-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	-0.1	-1.5	-	-0.8
-0.2	-0.4	-0.3	-0.3	-0.2	-0.3	-0.5	-1.0	-	-0.9
-0.3	0.2	0.0	0.3	0.0	0.2	0.3	-0.9	-	-0.8
-0.1	-0.2	-0.3	0.0	-0.5	-0.3	-0.3	-1.6	-	-1.1

「学力の伸び」や「伸ばした児童の割合」を見ると昨年度の指導の状況（教科経営）が見える。

良好だと思っていた3組の学習方略、非認知能力は昨年度に比べ低い傾向にある。それはなぜか。2組は、学力レベルには課題が見られたが、認知方略や努力調整方略の伸びが見られる。
学校マネジメントに活かすには、「伸び」や「非認知能力」等、複合的に分析することが必要

とっとり学調の分析・活用（視点② 指導のポイント）

【クラス別結果から】6年C組

平均	算数	AL	柔軟的	プランニング	作業	人的リソース	認知的	努力調整	自己効力感	学習意欲
C組	7-C	4.0	3.6	3.8	3.4	3.3	3.9	4.0	3.4	3.8
学校	7-C	3.8	3.3	3.5	3.2	3.2	3.7	3.9	3.3	3.4
市	7-C	3.9	3.3	3.4	3.3	3.1	3.7	3.9	3.2	3.5
県	7-C	3.9	3.3	3.5	3.4	3.1	3.7	4.0	3.3	3.5

《学習方略》

《非認知能力》

【柔軟的】
自分の状況に合わせて学習方略を柔軟に変更

【プランニング】
計画的に学習に取り組む

【認知的】
より自分の理解度を深める

【自己効力感】
自分はそれが実行できるという期待や自信

【学習意欲（算数）】

とっとり学調の分析・活用（視点② 指導のポイント）

学級の高かった項目に着目して授業を参観する

【主に《学習方略》の観点から】



【柔軟的方略】

- ◆問題や「めあて」を子どもとつくる
- ◆アプローチの選択・見直しを促す
- ◆多様な見方・考え方を大切にする

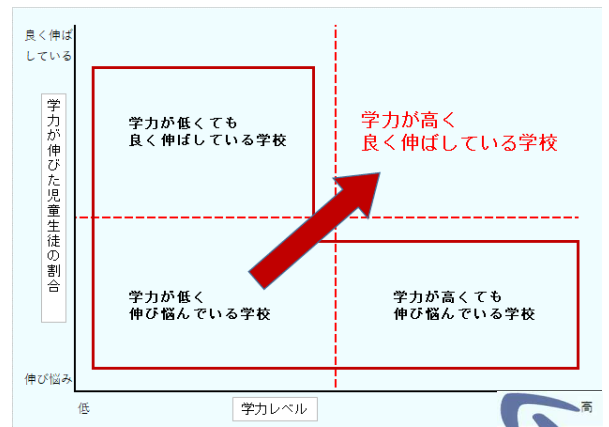
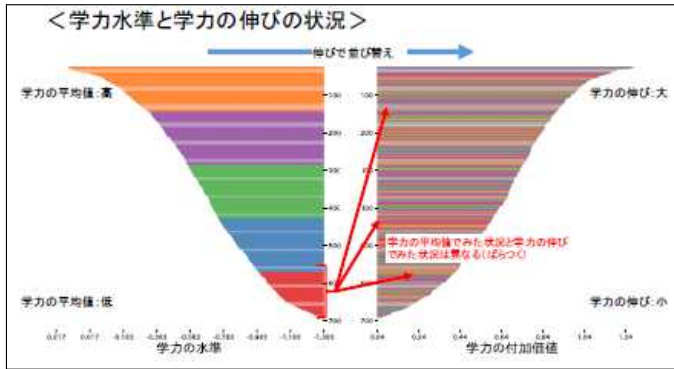
「伸び」で考える文化

- 成績上位の児童生徒が伸びているわけではない。
- 成績下位の児童生徒が伸びていないわけではない。

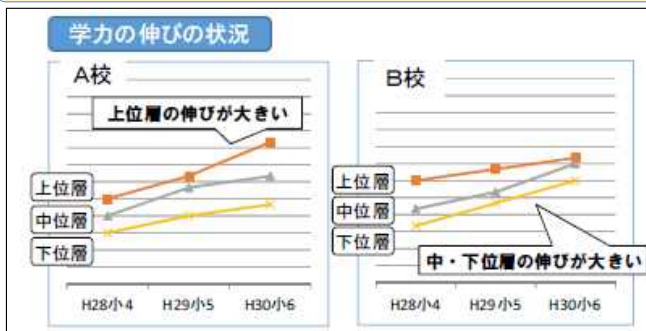


「伸び」は、すべての子どもたちに与えられたチャンス
学校は、伸びた子を認め、伸びていない子を励ます

学校の「伸び」を見ると



学力が高い学校が学力を大きく伸ばしているとは限らない
(学力が低い学校が、学力を伸ばしていない学校とは限らない)



学校の実情に応じた重点的な支援
 > 管理職の意識改革、マネジメント能力の強化
 > 教員の意識改革、授業改善の推進

> 効果的な指導を実施している教員が多い学校
 > 教科や学力層を問わず学力を伸ばしている学校

市町村の枠を超えて効果的な取組を共有する仕組みづくり



「年なり」ではない。 学校や先生自らが指導を見直す機会に

- 結果の「よしあし」を子ども等のせいにししない。
- 指導した結果が明らかになることをどう生かすか。

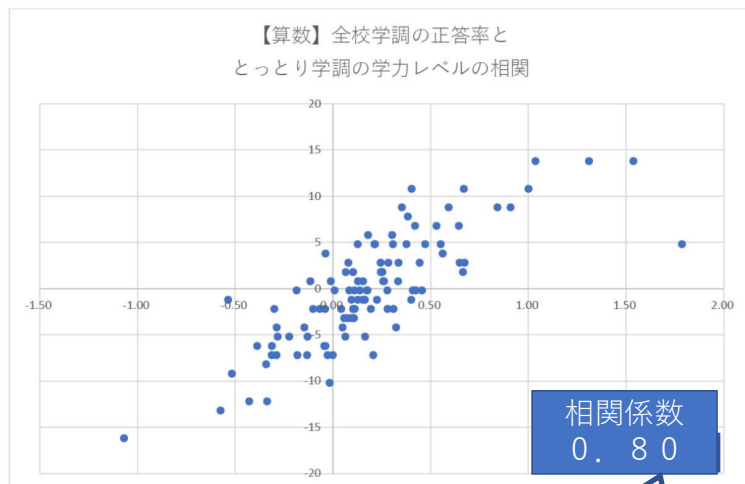
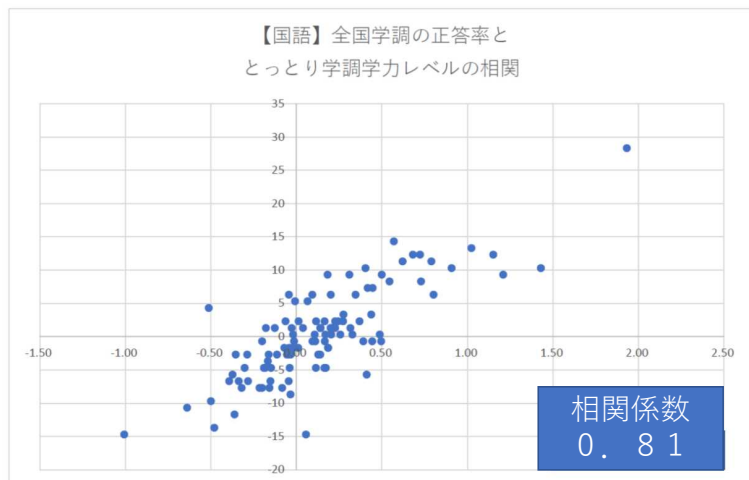
- **校長の学校マネジメント**
- **町教育委員会の学校の見取りと指導の方向性**



先生の指導力の向上（自己研鑽）



全国学調ととっとり学調の相関



R 3 鳥取県小学校6年生の「全国学調」と「とっとり学調」の正答率には、強い相関が見られる

相関係数が1に近いほど、両値の相関は強い。0.80は非常に強い相関を表している。

R3 とっとり学力・学習状況調査の分析に係るスケジュール

	県教委	市教委（鳥取市・米子市）	市町村教委（他）	学校
9月	とっとり学調 結果公表	■教員対象の分析方法説明会（東部会場・西部会場） 各学校より1名（悉皆） 各市の結果を基に分析方法を周知する	■教員対象の分析方法説明会（東部会場・中部会場・西部会場） 各学校より1名（悉皆） 結果を基に分析方法を周知する	授業改善報告書の書式受け取り
	授業改善報告書の書式提示			
10月	■学力向上推進PT会議（10/13） ・学力向上施策について検討 ・とっとり学調分析報告	■分析委員会 開催（東部・中部・西部）県教委+市町村教委 各市町村の結果を分析し、報告書作成について検討する。		とっとり学調 個人票返却（返却日は学校で設定）
	分析委員会メンバー（県教委指導主事+市町村教委指導主事）を中心に、分担して報告書の原稿を作成する。 ◇小算数・小国語 ◇学校から好事例を聞き取り、資料を作成 （協力校：鳥取市小学校1校、米子市小学校1校）→県作成 （特徴校：東部・西部小学校1校、中学校1校ずつ、中部：小学校2校、中学校1校） （伸びのあった学校：東部・西部小学校1～2校ずつ）			・各校で結果の分析を行う ・全職員で分析結果を共有し、授業改善に取り組む
11月			好事例を各学校に配信	
	■分析委員会 開催（東部・中部・西部）県教委+市町村教委 分析結果や好事例をまとめた報告書を作成する。			
12月	とっとり学調報告書完成	報告書を各学校に配布		
1月				
2月	■学力向上推進PT会議（2/） ・本年度の学力向上施策の検証 ・来年度学力向上施策について検討			授業改善報告書の提出
3月		■第2回教員対象の分析方法説明会（東部会場・中部会場・西部会場） ■R4とっとり学調説明会（東部会場・中部会場・西部会場） 各学校より1名（悉皆） 報告書の内容を周知、R4の調査方法を説明		

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（鳥取県）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■鳥取県の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	54.7	56.1	59.0	59.7
算数	66.6	58.9	59.4	60.2

■鳥取県のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	66.2	59.8	63.5	61.8
	情報の扱い方、我が国の言語文化	65.5	61.2	73.8	55.2
	話すこと・聞くこと、書くこと	29.0	36.2	41.8	50.0
	読むこと	39.0	57.4	54.6	63.9
	評価の観点	知識・技能	66.0	60.2	65.3
問題形式	思考・判断・表現	33.4	50.8	50.7	59.3
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
	選択式	58.1	56.2	61.4	57.0
問題形式	短答式	54.4	58.7	57.3	66.4
	記述式	14.1	24.2	29.6	42.8

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	68.6	60.4	64.4	65.6
	図形	62.6	58.8	61.4	52.9
	変化と関係（小4は測定）	69.4	58.5	59.2	59.9
	データの活用	63.8	56.3	49.2	59.6
評価の観点	知識・技能	68.9	63.0	61.2	62.3
	思考・判断・表現	51.2	48.3	49.7	40.6
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	63.5	56.0	60.8	63.2
	短答式	72.5	64.5	61.6	58.4
	記述式	20.9	12.2	5.0	40.1

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（鳥取市）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年	
	平均 正答率	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた生徒の割合
国語	54.7	56.1	↑↑↑	59.0	↑↑↑	59.7	↑↑↑
算数 数学	66.6	58.9	↑↑↑↑↑	59.4	↑↑↑↑↑	60.2	↑↑↑

■鳥取市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年	
	平均 正答率	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた生徒の割合
国語	54.6	57.6	↑↑↑	59.1	↑↑↑	59.5	↑↑↑
算数 数学	66.2	59.6	↑↑↑↑↑	58.9	↑↑↑↑↑	59.8	↑↑↑↑

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合・・・

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（米子市）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。

■鳥取県の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年	
	平均 正答率	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた生徒の割合
国語	54.7	56.1	↑↑↑	59.0	↑↑↑	59.7	↑↑↑
算数 数学	66.6	58.9	↑↑↑↑↑	59.4	↑↑↑↑↑	60.2	↑↑↑

■米子市の結果

	小学校 第4学年	小学校 第5学年		小学校 第6学年		中学校 第1学年	
	平均 正答率	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた児童の割合	平均 正答率	前年度より学力が 伸びた生徒の割合
国語	54.2	55.0	↑↑↑	58.6	↑↑↑	60.9	↑↑↑↑
算数 数学	65.2	58.6	↑↑↑↑↑	59.3	↑↑↑↑↑	60.8	↑↑↑

※平均正答率・・・各教科の平均正答数を設問数で割った値の百分率（％）

※前年度より学力が伸びた児童生徒の割合・・・

↑↑↑↑↑＝80％以上、↑↑↑↑＝70％以上 80％未満、↑↑↑＝60％以上 70％未満

↑↑＝50％以上 60％未満、↑＝50％未満

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（岩美町）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■岩美町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	57.2	54.8	62.8	59.3
算数	68.4	57.6	61.3	60.0

■岩美町のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	70.1	61.6	65.8	61.2
	情報の扱い方、我が国の言語文化	69.0	58.8	79.6	59.7
	話すこと・聞くこと、書くこと	30.1	30.4	44.3	47.5
	読むこと	37.7	53.9	60.7	61.9
評価の観点	知識・技能	69.8	61.0	68.2	60.7
	思考・判断・表現	33.5	46.7	55.7	57.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	59.4	53.0	64.0	56.9
	短答式	58.3	59.7	63.1	65.4
	記述式	15.1	26.1	37.3	44.3

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	68.4	58.3	64.9	66.0
	図形	63.2	60.0	65.7	51.2
	変化と関係（小4は測定）	75.8	58.6	62.9	54.6
	データの活用	66.0	52.3	49.5	65.3
評価の観点	知識・技能	71.0	63.3	63.2	62.5
	思考・判断・表現	51.0	42.9	51.5	36.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	62.8	52.7	63.1	63.7
	短答式	76.5	64.9	63.2	57.4
	記述式	23.3	12.5	5.3	41.0

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（八頭町）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■八頭町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	56.9	59.6	60.9	61.2
算数	66.9	61.2	63.0	64.5

■八頭町のカテゴリ別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	70.1	61.7	64.9	62.2
	情報の扱い方、我が国の言語文化	68.1	66.8	73.2	57.5
	話すこと・聞くこと、書くこと	27.9	44.3	48.0	53.8
	読むこと	39.3	60.0	56.5	65.4
評価の観点	知識・技能	69.5	62.9	66.3	60.9
	思考・判断・表現	33.0	55.2	53.9	61.6
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	62.1	58.3	62.4	57.2
	短答式	55.0	62.8	59.7	69.2
	記述式	11.8	42.6	46.4	55.7

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	68.6	63.0	67.6	72.7
	図形	63.2	60.0	64.1	57.4
	変化と関係（小4は測定）	71.1	62.3	62.9	62.4
	データの活用	63.0	57.4	54.1	59.4
評価の観点	知識・技能	69.7	65.6	64.9	66.0
	思考・判断・表現	48.3	50.1	52.8	49.7
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	62.2	57.8	63.5	65.0
	短答式	74.5	67.2	66.0	64.8
	記述式	18.5	17.0	8.0	50.9

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（智頭町）

鳥取県教育委員会

- ◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
- ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■智頭町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	49.4	56.0	54.0	60.2
算数	64.1	58.8	51.0	54.4

■智頭町のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	60.8	63.7	57.8	62.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	59.0	66.9	68.2	55.5
	話すこと・聞くこと、書くこと	25.9	31.3	34.9	52.5
	読むこと	32.9	51.1	51.7	62.8
評価の観点	知識・技能	60.3	64.4	59.6	60.7
	思考・判断・表現	29.0	45.0	46.5	59.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	55.0	54.6	59.2	56.3
	短答式	47.2	60.8	46.3	68.0
	記述式	4.9	22.5	30.2	55.0

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	64.8	64.4	57.4	65.6
	図形	64.6	61.3	48.8	44.7
	変化と関係（小4は測定）	63.8	54.3	48.1	49.6
	データの活用	62.2	49.2	44.9	49.6
評価の観点	知識・技能	66.2	63.5	52.4	57.2
	思考・判断・表現	50.0	46.7	43.7	27.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	62.2	54.8	52.6	56.6
	短答式	68.8	65.8	52.8	53.8
	記述式	19.5	5.0	0.0	27.5

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（倉吉市）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■倉吉市の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	58.4	58.5	60.3	59.6
算数	70.3	60.0	60.9	62.9

■倉吉市のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	70.7	62.1	64.7	61.9
	情報の扱い方、我が国の言語文化	68.4	65.0	75.5	56.4
	話すこと・聞くこと、書くこと	33.0	37.8	42.9	48.3
	読むこと	41.0	59.4	56.2	63.5
評価の観点	知識・技能	70.0	62.8	66.6	60.4
	思考・判断・表現	36.6	52.8	52.1	58.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	61.7	57.2	62.3	57.5
	短答式	58.1	63.2	59.8	65.6
	記述式	19.8	22.8	28.1	40.8

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	71.6	60.4	64.9	66.6
	図形	66.3	60.9	64.9	56.7
	変化と関係（小4は測定）	72.6	60.9	59.7	64.4
	データの活用	69.4	57.4	51.3	62.5
評価の観点	知識・技能	72.6	64.0	62.8	65.1
	思考・判断・表現	55.4	49.8	50.8	42.0
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	66.7	57.6	62.2	66.3
	短答式	76.9	65.2	63.2	60.8
	記述式	21.3	14.3	5.1	41.0

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（湯梨浜町）

鳥取県教育委員会

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■湯梨浜町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	55.2	55.6	61.0	57.5
算数	68.2	58.8	61.7	57.3

■湯梨浜町のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	65.4	59.7	65.9	59.4
	情報の扱い方、我が国の言語文化	67.9	63.6	76.8	52.0
	話すこと・聞くこと、書くこと	29.1	39.5	46.6	47.0
	読むこと	41.1	53.3	54.5	63.2
評価の観点	知識・技能	66.1	60.6	67.8	57.3
	思考・判断・表現	34.4	49.0	52.1	57.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	57.1	56.4	62.6	54.8
	短答式	56.2	56.3	59.7	64.7
	記述式	17.1	34.6	42.6	37.3

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	71.0	60.8	68.2	63.0
	図形	63.5	60.9	64.2	50.0
	変化と関係(小4は測定)	72.3	55.1	59.2	57.4
	データの活用	63.3	56.9	50.1	55.8
評価の観点	知識・技能	70.8	62.3	63.6	59.3
	思考・判断・表現	51.3	49.9	51.4	37.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	64.3	57.1	61.8	62.2
	短答式	74.9	63.6	65.2	53.4
	記述式	22.9	9.6	3.4	38.0

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（三朝町）

鳥取県教育委員会

- ◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
- ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■三朝町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	53.3	61.3	61.4	60.7
算数	69.5	69.0	69.1	66.9

■三朝町のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	66.9	65.7	68.8	66.4
	情報の扱い方、我が国の言語文化	60.0	69.5	76.8	55.7
	話すこと・聞くこと、書くこと	25.7	48.8	42.9	48.8
	読むこと	38.7	56.9	53.1	60.6
評価の観点	知識・技能	64.8	66.6	70.2	63.4
	思考・判断・表現	31.5	54.4	50.0	56.7
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	58.2	59.3	62.0	57.5
	短答式	51.6	65.7	62.8	68.0
	記述式	9.5	43.9	37.0	48.3

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	72.6	70.0	72.3	74.9
	図形	63.1	73.2	71.1	53.5
	変化と関係(小4は測定)	77.8	66.9	72.1	66.7
	データの活用	61.5	65.0	59.0	68.9
評価の観点	知識・技能	72.4	76.4	70.7	68.7
	思考・判断・表現	50.6	50.1	60.4	49.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	63.3	67.2	70.0	67.0
	短答式	79.0	74.1	72.3	68.4
	記述式	14.3	14.6	4.3	41.7

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（北栄町）

鳥取県教育委員会

- ◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
- ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■北栄町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	57.8	53.6	61.1	59.2
算数	73.6	57.5	63.7	60.3

■北栄町のカテゴリ一別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	71.0	57.9	65.4	61.7
	情報の扱い方、我が国の言語文化	66.3	59.3	77.9	55.2
	話すこと・聞くこと、書くこと	30.3	32.9	39.5	48.9
	読むこと	42.2	53.9	58.5	62.7
評価の観点	知識・技能	69.6	58.2	67.6	59.9
	思考・判断・表現	35.6	47.4	52.6	58.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	61.1	54.0	62.6	57.0
	短答式	57.8	56.1	61.6	65.8
	記述式	16.4	16.5	26.9	34.9

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	75.9	58.3	70.5	64.2
	図形	70.5	59.2	65.5	54.5
	変化と関係(小4は測定)	74.9	56.8	59.4	59.6
	データの活用	70.5	54.8	54.0	60.7
評価の観点	知識・技能	75.7	61.3	65.7	62.6
	思考・判断・表現	59.9	47.8	53.3	37.9
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	70.3	55.1	62.2	62.7
	短答式	79.6	62.6	68.8	59.3
	記述式	29.1	11.6	5.9	34.9

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■琴浦町の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	56.0	56.7	60.9	60.7
算数	69.5	58.6	58.4	60.6

■琴浦町のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	67.3	60.2	64.8	61.1
	情報の扱い方、我が国の言語文化	67.2	65.4	80.3	58.2
	話すこと・聞くこと、書くこと	32.4	36.5	46.4	55.3
	読むこと	37.6	56.7	54.8	64.5
評価の観点	知識・技能	67.3	61.4	67.5	60.3
	思考・判断・表現	34.7	50.5	52.2	61.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	59.5	57.3	64.1	58.4
	短答式	55.6	58.5	57.6	65.9
	記述式	15.0	23.1	31.6	52.9

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	72.1	60.8	63.8	66.6
	図形	61.2	60.5	60.1	55.4
	変化と関係（小4は測定）	73.8	56.5	57.0	57.1
	データの活用	68.4	54.1	48.8	59.1
評価の観点	知識・技能	72.3	62.7	60.0	62.4
	思考・判断・表現	51.4	47.9	49.6	43.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	64.8	56.9	60.3	64.1
	短答式	77.2	63.0	60.0	58.2
	記述式	20.5	12.3	5.3	42.0

令和3年度 とっとり学力・学習状況調査 調査結果概要（境港市）

鳥取県教育委員会

- ◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
- ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■境港市の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	50.0	48.7	52.5	54.7
算数	63.3	53.6	55.2	55.1

■境港市のカテゴリ一別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	60.9	52.9	59.5	56.0
	情報の扱い方、我が国の言語文化	62.3	54.2	68.3	52.2
	話すこと・聞くこと、書くこと	24.3	28.8	31.6	42.5
	読むこと	34.0	48.9	45.6	60.1
評価の観点	知識・技能	61.3	53.2	61.0	55.0
	思考・判断・表現	28.6	42.7	41.3	54.2
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	54.5	51.1	55.7	53.5
	短答式	48.9	48.2	50.4	59.6
	記述式	5.2	12.8	11.8	27.1

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	65.8	54.5	62.3	59.1
	図形	60.3	52.5	56.5	48.6
	変化と関係(小4は測定)	65.2	54.3	54.2	55.5
	データの活用	59.4	51.8	42.9	55.3
評価の観点	知識・技能	65.5	57.6	57.2	57.2
	思考・判断・表現	49.0	43.3	44.6	34.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	60.2	49.6	56.0	59.5
	短答式	69.1	60.1	57.8	51.7
	記述式	20.6	9.5	3.7	34.7

◇当該学力・学習状況調査結果については、成長段階にある児童等の心情に配慮し、序列化や過度の競争等が生じることのないよう使用しなければならない。
 ◇本調査の目的は、平均正答率を比較することではなく、個人の学力の伸びを継続して把握することである。本年度は鳥取市、米子市以外は学力の伸びを把握することができないため、平均正答率のみを示している。

■日吉津村の平均正答率（％）

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年
国語	55.4	60.7	62.1	
算数	66.8	59.3	61.2	

■日吉津村のカテゴリー別正答率（％）

【国語】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	67.1	65.1	66.8	
	情報の扱い方、我が国の言語文化	64.2	71.7	72.6	
	話すこと・聞くこと、書くこと	32.6	35.0	50.0	
	読むこと	37.5	60.7	56.7	
評価の観点	知識・技能	66.3	66.7	67.9	
	思考・判断・表現	34.8	52.8	54.7	
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	
問題形式	選択式	58.9	58.6	63.7	
	短答式	55.0	66.4	61.4	
	記述式	13.2	26.7	39.3	

【算数】

分類	区分	平均正答率			
		小4	小5	小6	中1
教科の領域等	数と計算	70.4	65.4	71.4	
	図形	63.6	60.0	58.2	
	変化と関係(小4は測定)	72.8	52.9	56.5	
	データの活用	56.6	52.8	50.5	
評価の観点	知識・技能	69.6	62.6	62.7	
	思考・判断・表現	48.0	50.7	52.9	
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	
問題形式	選択式	63.5	57.1	62.9	
	短答式	73.2	64.0	62.9	
	記述式	15.8	16.7	7.1	